

## 【第1 現状と課題】

- 超高齢化が今後進んでいく見通し～支え手と受け手のバランスの変化～
- 個人の生活スタイルや職業選択の変化⇒少子化・核家族化、高齢者世帯の増加
- 介護認定率は75歳から上昇。2025年以降は団塊世代が75歳以上に突入。
- 産業が集積する新潟東港工業地帯、新潟市中心地まで通勤・通学圏内という好条件。
- 新潟聖籠病院が平成28年9月に開業し、町内の医療体制は充実してきている。

## 【第2 基本的方向】

[生涯活躍のまちの定義]

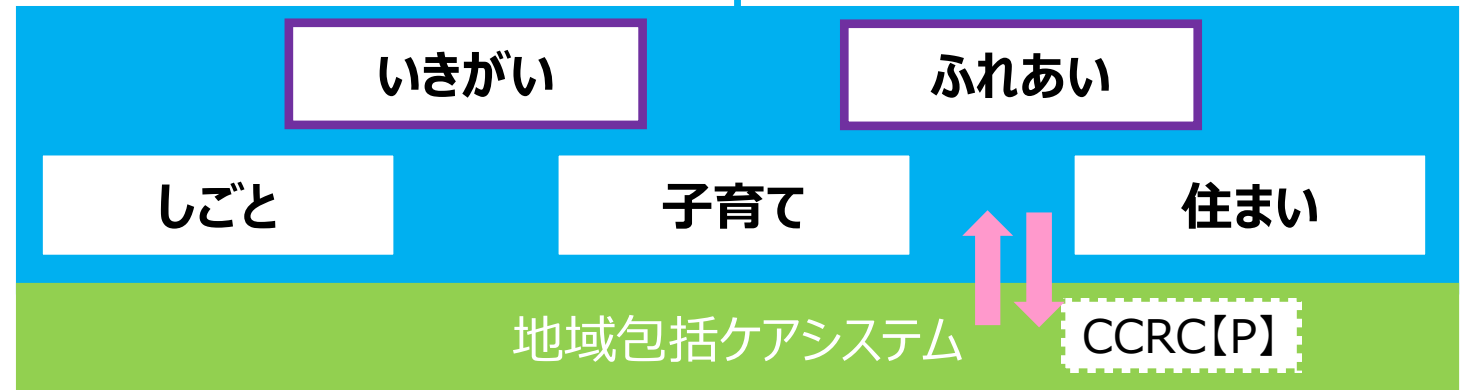
超高齢化社会において、若者、ファミリー層、高齢者が**多世代共生**し、それぞれが各分野の担い手として活躍でき、安心して暮らせる生活環境があり、自分らしく歳を重ねることができるまち。それが「**生涯活躍のまち**」である。

[構想の推進方針]

若者、ファミリー層の定住を促進する

自分らしく歳を重ねていける安心を創る

## 【第3 講ずべき施策】



## 【第4 構想の推進に向けて】

- 推進体制
- 「自助」「互助」「共助」「公助」の役割 など